

成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより182号
R2. 2. 7



自分たちで課題を 解決できる方法



学校だより163号で掲載した食品ロス・学校給食牛乳について、健康づくり委員会が毎日、牛乳を飲むことを奨励し、点検活動を始めました。その点検結果が4日の全体朝会で発表されました。名スピーチでした。感謝。

これから健康づくり委員会の発表を始めます。早速、1月21日から始まった「カルシウムを摂ろう大会」の結果発表をします。この9日間で最も牛乳の残りが少なかったクラスは、113、212、213、311、312の5クラスです。この5クラスには、後ほど健康に良いものを贈呈したいと思えます。

次にこの写真を見てください。これは「カルシウムを摂ろう大会」を開催する前の牛乳の残りです。1日に40個から50個は残っていました。そして、次の写真は大会開催時の牛乳の残りです。10個ほどしか余っていません。

今回は、「賞品がある」という理由で、みなさん頑張ったかも知れません。それも決して悪いことではありません。賞品というモチベーションを基に、みなさん一人一人が「牛乳を残さないようにしよう」という、ちょっとした思いや心がけで、こんなに牛乳の残りを減らすことが出来たのです。私達は、自分たちで自分たちの問題を解決できること・方法を学んだのです。大会はこれで終了しますが、体に必要な栄養素を考えることや食べ物の感謝の気持ちを忘れず、これから先も給食をいただきますよう。賞品は、後ほど学級へ届けます。これで健康づくり委員会の発表を終わります。

サバの味噌煮 定食



1年生家庭科は調理実習です。今日の献立は、サバの味噌煮、わかめと胡瓜の和え物、アーサー汁、ご飯の和食献立です。



健康づくり委員のSさん、Sさん、Uさん

サバはショウガと太ネギ、味噌だれを入れて落としぶたをして煮込み、昆布、カツオ節で出汁をとり、塩・醤油で味を整えたアーサー汁、和え物にはじゃこも使用しました。

